



漂着物アート



活動内容	海浜で自然物やゴミを回収し、木工用ボンドやグルーガンを使って貼りあわせたり、必要に応じて色をつけたりして作品を作ります。楽しく活動をしながら豊かな創造性を培うとともに、つくりだす喜びを味わうことができます。
------	---

対象	時間	活動人数	活動形態
制限なし	2～3時間	制限なし	一斉
活動場所	必要引率者	活動適正機関	自然・感性 ◎ 創意工夫 ◎
海浜、各研修室	安全管理	通年	主体・計画 ○ 協調・協働
			粘り強さ 人間関係

活 動 の 流 れ	団体		職員		
	事前	【打合】活動場所	【打合】活動場所		
		集合場所、参加人数、活動内容、着替える場所、海浜出入口の確認、ごみ置き場の場所説明			
	活動	【集合】研修室等 ①説明を聞く(10分) ②海浜清掃(30分～1時間) ・海浜のゴミを回収する ・(燃えるごみ/缶・金属類/ビン・陶器)の3つに分ける ③工作開始(1時間～2時間) ・回収した漂着物から作品に使えるものを選ぶ ・木工用ボンド、グルーガンで漂着物を貼りあわせる ・必要に応じて色付けをする		【指導】活動上の指導を行う ・工作の説明、諸注意 ・片づけ方の説明	
		【片付】使用した道具と活動場所の片づけを行う		回収したゴミを入れる袋にまとめて入れると、工作で使うものを仕分けする時間が必要になるため、あらかじめ班ごとなどでビニール袋などを用意しておくとう活動がスムーズに行える。	
		【解散】研修生は引率者の指示に従う			
事後	【片付】用具を返却 ※分別したごみはそれぞれ所定のごみ置き場へ持っていく		【片付】用具の返却を受けとる		

引率者の役割	・用具の管理を行う ・シャワーを使用することができないので研修生が海に入らないよう巡視 ・使用した研修室の後片付けの指導を行う
活動の留意点	・海浜清掃に行く場合は、必ず海浜出入口を使用する(砂を館内にあげないため) ・活動後のごみは、燃えるごみは食堂裏ごみ置き場、缶・金属類とビン・陶器は食堂前不燃物置き場に持っていく
「玄海の家」で準備できるもの	海浜清掃用ネット、グルーガン(グルーガンの芯は団体準備)
利用団体で準備するもの	漂着物(海浜清掃で回収したもの)、軍手、サンダル、木工用ボンド、グルーガンの芯、新聞紙、漂着物を入れる袋(工作で使うもの)、ポスターカラー・油性マジック(色付けする場合)